

市議会だより さつて



寒風に耐えて春を待つ

12月定例会のおもなことから

- ・平成28年12月定例会議案……………2～4ページ
- ・各常任委員会での審議……………5～7ページ
- ・市政に対する一般質問……………8～14ページ
- ・特別委員会報告等……………15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記……………16ページ

No.81
2017年
2月

平成28年 12月定例会

平成28年12月定例会は、11月30日から12月22日までの23日間にわたり開かれました。市長提出議案として追加議案も含め条例案8件、補正予算5件、工事請負契約の変更1件、人事案件2件、および報告1件が上程され、全議案とも可決承認されました。また、議員提出議案として意見書案1件、決議案1件が提案可決されました。なお、幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会が12回にわたる調査を終了し報告がなされました。

第二保育所 建設工事の契約変更 完成は平成29年4月末に



工事中の第二保育所

建設発生土に混入物

工事費1353万円余増額に

かねてより行われていました市立第二保育所の建設工事が、工事開始後、建設の際の発生土に想定外の混入物がありました。

このため予定された発生土搬出先に搬入することができず、搬出先が変更されました。

このことにより発生土搬出費が約1353万円増額となりました。また、工期も平成28年度の3月15日から、平成29年度となる4月28日に延長しなければならなくなりました。

従って、前払金を除く工事費の大半が平成29年度に繰越明許となりました。

なお、第二保育所の開所の予定には変更がありません。



行幸小学校

行幸小学校

約3億5千万円で

大規模改修へ

平成28年度幸手市一般会計補正予算（第4号）が、可決成立しました。

補正予算の最大の事業は、行幸小学校の大規模改修です。行幸小学校は、昭和52年に完成し、耐震改修はしたものの、築後40年を経過するもので、児童の安全安心な学習環境を整備するための大事な事業です。

今年も
よろしく
お願い



いたします

議長

手島 幸成

副議長

小林 順一

議員（議席順）

大山重隆 小林啓子 小河原浩和 本田謡子 松田雅代 宮杉勝男 木村治夫 中村孝子 藤沼村孝 青木沼村 武藤木沼 大平泰壽 二男章貢



手島市議会議長
幸手 手島 幸成

市民の皆様には、新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日ごろから市議会運営に對しまして、あたたかいご支援と格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は市制施行30周年を迎えました。今年はこの勢いをさらに増し飛躍の年となることを期待しています。

市議会といたしましても、市民の皆様のご期待にこたえるため、質の高い議論を行うとともに、より精度の高いチェック機能を発揮してまいる所存であります。

結びにあたり、市民の皆様のみますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

幸手市議会議員研修会開催 介護予防の公的責任と自治体

市議会は、平成29年1月13日、埼玉県和光市保健福祉部長 東内京一（とうないきょういち）氏を講師として招き、介護予防の公的責任と自治体と題する議員研修会を開催しました。

和光市は、地域性を重視した介護保険事業運営を中心に保健・医療・福祉政策を構築し地域包括支援体制を推進している自治体です。

同市の中央コミュニティケア会議の構成は、保険者（市）、市内五か所の地域包括センターから24人、外部からの助言者（医師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、薬剤師、作業療法士）から成っています。さらに、個別プランを作成するときは、消費者相談員等の市役所関係者やグループホームの関係者が加わることでした。

講演内容は、

- 1、超高齢化社会に對した地域包括ケアシステムをどう構築するか。
- 2、そのためのニーズ調査や縦割り行政を改めた中央コミュニティケア会議の設置。
- 3、これを中心に各種ケアマネジメントの一元化（高齢者、子ども・子育て、障害児・者、生活困窮者の支援）を図る。
- 4、平成30年に計画されている国の医療と介護の一体改革に對する等。

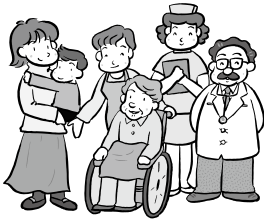


(意見書案第1号)
地方議会議員の厚生年金
への加入を求める意見書
を提出

地方自治法第99条の規定により
意見書が提出され、幸手市議会と
して「賛成全員」で可決し、衆議
院長、参議院議長、内閣総理大
臣ほか関係府省に送りました。

(決議案第2号)
地域包括ケアの推進を求
める決議を提出

幸手市議会会議規則第13条第1
項の規定により決議案が提出され、
幸手市議会として「賛成全員」で
可決しました。



地域包括ケアの推進を求める決議

幸手市の高齢化率も30%を超え、超高齢化社会となつてまいりました。

また、高齢者夫婦のみの世帯、高齢者独居の世帯ともに増えており、家族・地域で支えていく事が大変難しくなつてきております。

多くの市民が老後の暮らしに不安を持っており、いつまでも自宅で安心して暮らせる医療・介護体制（地域包括ケアシステム）の構築が求められています。その為には、ケアシステムの柱となる在宅医療、いつでも自宅へ訪問できる看護・介護体制の整備が必要となります。まず、医師会等と協力・連携し、在宅医療体制を整える事、更にケアシステムの中心となる地域包括支援センターの機能を強化し、地域密着型サービスを充実させていく事が重要です。

ここに、地域包括ケアシステムの構築に向け、すみやかに取り組む事を求めます。

以上、決議する。

平成28年12月22日

幸 手 市 議 会



幸手東地域包括支援センター
(ウェルズ幸手)



幸手西地域包括支援センター
(旧香日向小学校内)

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月22日

埼玉県幸手市議会議員 手 島 幸 成

人事案件

教育委員会委員

齊 藤 一 夫 氏

を任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

駒 橋 明 彦 氏

を選任することに同意しました。

総務常任委員会

幸手市税条例等の一部を 改正する条例 (議案第82号)

問 スイッチOTC薬について、幸手市でこの薬を利用されている方は何名いるのか。

答 OTCとはオーバー・ザ・カウンターの略で、まちの薬局のカウンター越しに売られる薬、つまり市販薬なので、薬局へ行つて買える薬である。

スイッチOTCに指定されているものが約1500種類あり、イブやロキソニン、水虫の薬など、そういうもののほとんどを含む。該当者数については把握していないが、薬局で買えるものなので、ほとんどの方が購入されているかと思う。

問 医療費控除については条件があり、特定健康診査、予防接種、定期健康診査、健康診査、がん検診のいずれか1つを受けている方が対象である。

問 市販薬を買って医療費控除を

つけるということは、医者にかかる部分を減らそうという考えなのか、単に両立させてどちらでも控除できるということか。

答 これは国が考えた制度だが、医療費を減らそうという考えだと思う。考えだと思われる。



問 周知徹底の仕方はどのようにするのか。

答 広報紙およびホームページ等で広報していく考えである。

平成28年度幸手市一般会 計補正予算 (第4号) (議案第85号)

問 ふるさと納税の減額理由は。

答 昨年度と比較して、平成27年度の上半期が約1900万円、平成28年度の上半期が550万円、約29%の寄附率であることから、今後の見込みを立てて、2千万円の当初予算計上したが、それに至らないため、減額をした。

理由としては、従前のとおり寄

附の募集をしていたが、今年度は幸手市がテレビ放映されるに当たり、昨年度の寄附者にテレビ放映されることに加えて今年も寄附のお願いという趣旨のはがき等を送った経緯はあるが、思ったほど数字が伸びなかったのが現状である。

この分析については、いろいろ考えられるが、幸手市では、玄米17キロ、精米15キロの記念品を差し上げているが、全国的に見ると多い自治体では、1万円で20キロの記念品を差し上げているところもある。幸手市を上回る記念品を出すところが出てきている現状があると見ている。

問 ふるさと納税というものに対してどのような見解を持っているのか。

答 ふるさと納税が、本来の趣旨とは少し違った形で全国的に展開して、ふるさとを思う気持ちの寄附というより、記念品を目当てに加熱状況にあるのが現実である。

幸手市としては、貴重な財源として今までも考えてきたところであるが、全国的なそのような状況で、果たして記念品を増やすのが良いのか考えている。

また、国からもあまり豪華な記

念品は辞めるよう通知が出ている。そこを十分見極めながら対応を考えていく。

問 企画費の3世代ファミリー定住促進事業の補助金が増額補正であるが、補助金を受ける件数が増えたということか。

答 この3世代ファミリー定住促進事業の補助金については、1件の補助額の上限が50万円、6件を見込んで当初予算300万円を要求していたが、10月の補正予算編成時時点で残金が74万円ぐらいいなくなったので、資金に不足が見込まれた。今後、4件分の200万円執行できるよう予定し、不足する130万円の補正をした。

問 債務負担行為の園児送迎バス運行事業の平成28年度当初予算との相違は。

答 設計を組む段階と入札で落札した金額の差が出てきたことに加えて、バスの旅行運行が新潟の長距離バスの事故があった関係で、時間単価や人の単価が大幅に上がっている状況があったので、設計単価自体も上がっている要因と考える。

文教厚生常任委員会

工事請負契約の変更について (議案第84号)

問 変更理由に、第二保育所建設発生土の搬出先変更に伴う重機等の追加による増額とあるが、その内容は。

答 重機は、当初1台で8日間の設計を組んでいたが、発生土の混合物をふるいにかけるための1台追加し、中川の置き場に土を搬入する際にも1台追加し、合計3台が必要となったことによるもの。

問 変更契約に至った理由と経緯について。

答 平成26年度に、建設工事基本設計業務の中で地質調査などを行うが、液状化の確認ということで分からなかった。翌年、建設用土の土壌検査を行うが、土壌成分の調査で知り得なかった。そして実際に土を搬出するにあたり、混合物が存在していることに気づいた。当初搬出を予定していた搬出先は、混入物を取り除かなければなら



一部にあった混入物

らないため断念し、春日部市の中川にある残土置き場へ、搬出先を変更したが、県から、大きく目立つような混入物については取り除いていただきたいとのこと、大きなものを取り除かなければ搬出できなかった。
なるべく経費を削減したいということで中川の方に運ぶ、そのためにはふるいをかけなければいけない、ふるいをかけた折には体積が増えてしまったという経緯がある。

平成28年度幸手市一般会計補正予算 (第4号) (議案第85号)

問 障害児通所給付費の実績が予定より増加した理由は。

答 放課後等デイサービスの施設が、平成27年10月に1カ所、28年2月に1カ所が市内にできたことで、利用者がかなり利用しやすくなったことによるもの。

問 行幸小学校校舎大規模改修工事の実施時期は。

答 この工事は、県との情報や意見交換の中で、来年度の補助採択が非常に厳しい状況であること、国の今年度補正予算で若干の追加の採択があることで、手を挙げた。現状は補助採択されるか未定だが、補助採択されない場合は、未執行として、来年度、再度申請する。また、補助採択された場合は、3月に繰越明許費を設定し、来年度の夏休みに工事を実施したい。



平成28年度幸手市介護保険特別会計補正予算 (第2号)(議案第86号)

問 高額介護サービス費、および高額介護予防サービス費の増額内容は。

答 事業計画上は両方を合計して予算を組んでいるが、実際は、要支援者の高額介護予防サービス費の支給対象となった人が、増加したことによるもの。

問 介護予防サービスの内容は。

答 介護予防サービス費の中には、通常、要介護認定者が使うような訪問介護、通所介護もある。その他に、地域密着型のグループホーム、要するに認知症対応型のグループホームなども要支援2の方から入れたり、リハビリ関係のサービスもある。そういうところで、自立を目指すような、促すようなサービス提供があるということ。



建設経済常任委員会

平成28年度幸手市一般会計補正予算(第4号)(議案第85号)

問 農林水産業費の機構集積協力金補助金の交付時期が3月とされるが、交付時期については農家の実態を把握した中で検討すべきでは。

答 今回は12月末までの地代が対象で、年度末に県から市に交付される。交付時期については、今後関係方面に働きかけていきたい。

問 新規就農総合支援事業補助金の対象者数と栽培品目は。

答 対象者は1人で、野菜を中心に栽培される予定である。

問 土木費の土木施工管理専門員の業務内容と1人分減額の理由は。

答 土木工事の施工管理、土木工事施工管理に係る指導に関することが主な仕事である。平成27年度は道路河川課とまちづくり事業課

に2人を任用していたが、平成28年度は欠員が生じた。最終的に道路河川課1人の任用となり、1人分を減額するものである。

問 2人任用枠はきちつと確保されるべき重要ポストではないのか。

答 1人については昨年度末になって継続任用ができない事情が発生。年度当初から超えて時間がなく、今年度については減額となる。

問 古川橋架替工事に係る国庫補助金減額と道路舗装費増額の関係性は。

答 国の交付メニューは3つあり、当初、古川橋架替3億6400万円、橋りょう長寿命化調査設計業務委託1286万円、市道舗装工事6400万円を工事費として交付要望したが、最終的に交付決定された内示金額が1億2586万円となった。すべてを古川橋に注ぎ込んでも当初の橋台2基分の工事費に及ばないことから内示額に合わせて事業を見直し。橋台1基分の事業費1億7千万円に対する

補助率55%分が9350万円。市道1・2号線の道路舗装は、補助金を全部使い切るため、橋台1基分工事と橋りょう調査の入札執行残を合わせて充当した。



橋台工事の始まった古川橋

問 古川橋架替工事は、今年度は橋台2基が1基となり、補助金55%での見直しができたが、実際には3割弱しかついていた補助率で工事完成までいくと、いずれ最終段階では一般財源で補てんしないと橋は完成しないということになるのでは。

答 最大限補助割れがないよう要望して行くが、重点プロジェクトで示した終期に工事が終わるよう、補助金が補助割れした場合是一般財源を充当する。

問 市道1・19・20号線開通記念式典の委託内容は。

答 協力地権者および関係者約100人規模を想定。企画運営は職員で、委託は主に機材等のリース代。

問 圏央道本体の記念式典とは別に100万円をかける必要性、近年の市道開通式典の開催状況は。

答 約12年に及ぶ長期事業の完成記念として企画。近年では幸手駅東口駅前広場の完成時に開催した。

問 公園等長寿命化工事設計業務委託が新たに予算化された理由は。

答 来年度上半期での工事発注に向け、公園等長寿命化工事の執行残を活用して設計業務を予算化した。

問 公園遊具等補修工事費200万円の工事内容は。

答 今年度から遊具点検の判断基準が一部改定に。使用不可となった遊具の補修について指定管理者が実施した法定点検の中で調整し、指定管理と別に市が補修するもの。

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が12月1日、2日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 記念用つき婚姻届について
- 母と子どもを守る産前産後ケア（ネウボラ）について

本田謡子議員

- 自校方式の学校給食について
- 権現堂公園のバリアフリーについて
- 市主催の防災訓練について

大平泰二議員

- 生存権否定する市税徴収問題
- 民間橋上駅舎建設
- 市長及び議員の政治倫理観と監査委員の対応について
- 幸手市圏央道上高野周辺土地区画整理

青木章議員

- 幸手駅舎・自由通路及び西口区画整理について
- 東京オリンピックに向けた幸手市の対応について
- 中央商店会お客様専用駐車場について

松田雅代議員

- 「平成29年度予算編成方針」と財政の見通しについて
- 保育料基準額の見直しについて
- 内水改善対策の推進について

小林順一議員

- ドローン利用の災害時情報収集について
- 「引きこもり」に対し社会復帰支援について

小河原浩和議員

- 任期付職員の採用について市長に伺う
- 3回目の成人式について

宮杉勝男議員

- 放課後児童クラブの学校施設利用について

中村孝子議員

- トイレの洋式化について
- 西口土地区画整理事業について
- 市民との対話集会について

木村治夫議員

- 地域農業の振興について

武藤寿男議員

- 人口動態と財政の現状と将来について
- 農地の維持管理と転用について

大山重隆議員

- 第5次総振の策定時に「幸手市から転出、したい理由」の1位は「老後の生活に不安があるから」であった。また、厚労省調査で、要介護となった場合「自宅でいつまでも暮らしたい」と答えた高齢者、家族は80%以上であった。高齢者がいつまでも安心して自宅で暮らせるためには、2つの大きな柱が必要である。
①在宅医療を担ってくれる医師・診療所があること。
②いつでも自宅へ訪問して、看護・介護をしてくれるシステムが整備されていること。
- 現在、幸手駅西口、駅舎整備が行われようとしているが、「幸手市のまちづくり」の長期ビジョンの上で、これらがどのような位置付け、役割を果たすのか。

12月定例会

傍聴者			
44人の方が傍聴されました。			
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。			
10月	463件	11月	276件
12月	1990件	の方が視聴されました。	

3月定例会
のお知らせ

2月20日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp/>

議会の傍聴しませんか
議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

12月定例会 会期日程
11月30日（本会議）
・開会・会期の決定・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
12月1日・2日・5日（本会議）
・市政に対する一般質問
12月9日（本会議）
・議案に対する質疑
・議案の委員会付託
12月12日（委員会）
・総務常任委員会
12月13日（委員会）
・文教厚生常任委員会
12月14日（委員会）
・建設経済常任委員会
12月22日（本会議）
・委員長報告、質疑、討論、採決
・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 12月定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。



本田謡子議員

みんなにやさしい権現堂桜堤を

Q 毎年、桜の頃には大勢の方々が賑わう権現堂桜堤4号公園。車椅子では不便との声を聞き、私は公園管理事務所で車椅子を借り、人を乗せて体験してみた。確かにいくつかの問題点が見えてきた。そこで、市として、バリアフリーの考え方から改善が必要と思われるものは、また、県にバ



A 権現堂4号公園は、桜まつり等で県内外から多くの観光客が訪れる公園である。

リアフリーに関する要望はあるのか伺う。

既存施設を都市公園にしていることから、車椅子で駐車場から堤へ行く通路が、一部急勾配な箇所があることや、案内・誘導表示が分かりにくい箇所があるので改善が必要と考える。

埼玉県に車椅子用通路の整備と誰もが必要な情報を得られるよう分かりやすい案内・誘導表示の設置を要望し、高齢者や障がい者等の誰もが利用しやすい施設整備を促進していく。

(建設経済部長)



小林啓子議員

記念用つき婚姻届の進捗状況は

Q 昨年6月議会の一般質問において、幸手市として記念用つき婚姻届を作成してはいかがかを質問した。その後の進捗状況を伺う。

A 記念用つき婚姻届については、複写式として1枚を記念用とする方法と婚姻届とは別に婚姻記念証を交付する方

法を検討した。

複写式とする場合には、新たに複写式の用紙を作成する必要が生じることから、婚姻届を提出されたお二人の思い出に、ご夫婦の名前や婚姻日を記載した婚姻記念証を平成29年4月1日から交付することにした。

また、出生の記念としての出生記念証も同様に交付することにした。

(市民生活部長)



市長は政治倫理条例を遵守出来たか



大平泰二議員

Q

市長（議員時代も含む）の倫理条例（経営者が市長と2親等以内の企業との取引）に抵触する可能性のある件数とその総額。また、誓約書を提出したにも関わらず、長期に渡って遵守しなかった原因はなにか。さらには「倫理条例抵触」との監査委員からの指摘はあったのか、伺う。

A

公文書の保存年限から現存する平成23年度から平成28年9月末までの件数は、50件、総額246万9641円である。

遵守出来なかった原因は、平成18年10月の条例施行後、規定された用語の解釈や、各々の規定の運用について、認識が薄かったことが原因であり、大変申し訳なかった。

監査委員からの指摘については、例年実施している定例監査

および決算に係る審査等においても指摘はなかった。
（市長・総務部長）



幸手駅舎・自由通路および西口区画整理



青木 章議員

Q

駅舎、自由通路の設計変更やこの事業に対する交付金が減額されたことで心配している市民がいる。そこで、改めて橋上駅舎、自由通路が予定通りオープン出来るのか伺う。また、駅前広場付近が、駐車場ばかりにならないよう西口駅前には商店街が出来るよう市で整備すること。彦根市の「黒壁ス

A

橋上駅舎および自由通路は、予定通り平成31年3月末に完成する見込みである。西口駅前広場周辺の商店街の整備は、土地区画整理事業の推進に合わせ、駅に隣接した利便性の高い市街地形成を図るため駅

クエア」のようなテーマを持った街づくりをすること。調整池の位置等も再考すること。などを実現し「にぎわい」の有る街づくりを望むが、いかがか伺う。

前広場から西口停車場線の一部区間に隣接する街区については商業施設を誘導する用途地域の変更を行う。また、地権者の方と協議しながら景観づくりのための建築協定や地区計画の導入も視野に検討を行い、にぎわいのある西口の顔づくりを図って参りたい。

（建設経済部長）



市民の信頼を取り戻す来年度予算編成を



松田雅代議員

Q 今年度予算は、国費の財源不足分の一般財源への

付替、地方創生では総額1億円におよぶ加速化交付金獲得に失敗するなど、市民の信頼を大きく失墜する事態が続いている。国費動向の予見は不可との市の見解だが、本当に予見出来ないのか。地方創生事業への予算配分は。歯止めのかからない人

口減少を予算に反映させるための検証は。平成27年度決算で監査から指摘された「低執行率（93％）の是正」について、来年度予算編成を前に考えを伺う。

A 予算編成をする上で国・県等の動向等について最新の情報等により的確に把握し、また、交付金の見積りは、交付率の実績が大きく減となっていて

の場合は近年の実績に合わせて積算することを指示した。また、

地方創生事業である「幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策については重点的に予算を確保するものとし、その他の事業についても重点プロジェクト事業の実施による総額予算を念頭に経費削減を最大限に検討し、予算計上することを指示した。

（市長）

ドローンを活用して災害時情報収集の提案



小林順一議員

Q 大規模地震や極地豪雨による浸水被害が懸念され

る。

こうした状況において、災害発生時に上空より現場の部分把握や全体の把握が可能となり、対策本部などに情報データがダイレクトに送信される確かな対応が期待される。

現在の情報収集に課題があれ

ば伺う。ドローンを活用して災害時情報収集を提案するが所見を伺う。

ドローン活用は災害だけではなく、幅広い分野での活用が想定されるが所見を伺う。

A 河川による洪水や直下型地震時には、職員自身の

参加が難しくなるため、人員の確保が課題となる。

災害時の情報収集にドローンの活用は有効であると考えてお



り、来年度に機材を購入し、操作に必要な講習に職員を参加させ、ドローンを活用できる体制を整えたい。

平常時でのドローンの飛行については、航空法等により規制があるが、広い分野での活用も関係機関と協議しながら導入していきたい。

（市長・市民生活部長）

即戦力としての任期付職員の採用を促す



小河原浩和議員

Q 「幸手市一般職員の任期付職員の採用等に関する条例」が本年4月に施行され、職員採用の幅が広がった。

弁護士をはじめ、社会福祉士や精神保健福祉士・保健師などの高度な資格を有する人や、広報・編集、販売促進・マーケティングなどの専門的な知識、経験を持った人など、即戦力とし

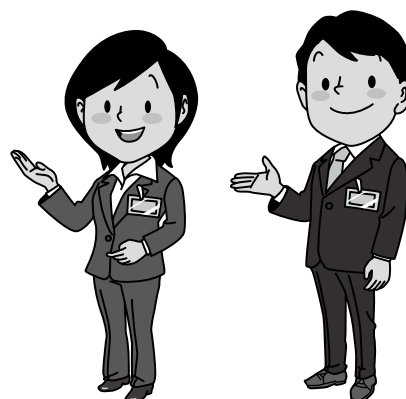
て、任期付職員の採用を積極的に行ってはどうかと思うが、市の考え方を伺う。

A 幸手市では、毎年度、組織定数等の要望調査並びにヒアリングにより、必要としている専門的な能力・経験などを調査・把握している。

弁護士等をはじめとする専門的な知識・経験を持った即戦力となる職員の採用の必要性については、組織定数等の要望調査

並びにヒアリングを通じて検討してまいりたい。

(市長)



放課後児童クラブの学校施設利用



宮杉勝男議員

Q 現在放課後児童クラブを利用して、雨が降ると校庭を使えなくなるので、室内があった返している所が数か所ある。

そこで、雨の日に限ってで結構なので、体育館を使わせてあげることができないかという観点から次の事を伺う。
(1)各放課後児童クラブを利用し

ている児童の推移を伺う。
(2)協定書の内容はどのようなになっているかを伺う。
(3)どうすれば、その内容を変更することができるか伺う。

A 放課後児童クラブを利用する児童の数は、平成24年度6ヶ所260人、平成25年度6ヶ所270人、平成26年度7ヶ所286人、平成27年度7ヶ所308人、平成28年度9ヶ所352人と、年々増えている。

市と放課後児童クラブとの協定書では、使用する施設の範囲や施設等の使用などについて定めているが、雨天時等の体育館の使用については記載はなく、今後、教育委員会、学校と協議し、協定書の内容について変更していきたい。

(健康福祉部長)



西口区画整理の重要性と確実な財源推進計画



中村孝子議員

Q

6月議会でも区画整理は高い優先順位でやるとの答弁であった。しかし、重点プロジェクト資金計画でも状況は大変厳しい。平成35年迄の10年間の執行予定は42%であり、35年から完了年度の42年度までの7年間で残り58%を執行することになる。意欲があっても資金がともなわなくては絵に描いた

A

餅と同じ。不可能な事はそれも含め、市民には正しい情報発信をすべきである。完了に向け、当事業の重要性と確実な財源・推進計画を再度市長に伺う。

源については、社会資本整備総合交付金、公共施設管理者負担金、保留地処分金、地方債および市単独費を充てる。平成36年度以降については市全体の財政運営を勘案しながら可能な限り財源の手当てに努め、平成42年度の事業完成を目指す。

(市長)

活力ある幸手経済をおこす農業振興策を問う



木村治夫議員

Q

平成27年2月1日農林業の国勢調査である農林業センサスが実施され幸手市の統計情報が発表された。市の農業生産・就業構造、農地土地資源等の実態とその変化を検討し地域農業振興に反映することが重要と考える。

そこで農業センサスの集計結果について伺う。またその情報

A

を分析し、市として目指す施策について具体的に伺う。

平成29年度、国の米生産目標事業が廃止となる、現行実施されている単独水田農業構造改革対策への影響または対策を伺う。

また、大規模経営体数が増加した。このような中、市としては多様な担い手による農産物の安定供給と収益性の高い農業を目指す。

生産調整の廃止で達成者への補助金が減少し所得の低下を招くが、動向を注視し、加工米や飼料米など戦略的な作物への補助金の充実等を検討していく。

(建設経済部長)



幸手市の人口動態と将来の事業と財政は



武藤寿男議員

Q 人口減少は平成7年をピークに年々減少している

が、このことは、生産年齢人口の減少による市税の減収、高齢者人口の著しい増加による扶助費等の民生費の大幅な増加となっている。

また、出生数の減少は、依然として続き、ここ20年間の合計特殊出生率は1・04と低くな

っているが、将来の市の推計人口の減少幅は、他の機関の推計よりも高くなっているが、果たして可能か。

更に、今後10年間の事業と財政の見通しはいかがか、市の見解を伺う。

A 幸手市人口ビジョンにおいて、合計特殊出生率

を人口置換水準である2・07に向け改善させるという仮定で推計しているが、現実には就職

や転職、結婚に伴う女性の転出が多い状況のため、人口減少の対策としては引き続き様々な施策の展開が必要となる。

今後の事業と財政見通しは、「重点プロジェクト資金計画」に「小学校エアカン貸借事業」、「公共施設等総合管理計画」に基づく大規模改修・更新に係る費用を加えたものが必要な財政需要額の推移と見込んでいる。

(総務部長)

いつまでも安心して自宅で暮せる医療介護を



大山重隆議員

Q 幸手市の高齢化率も30%を越え超高齢化社会とな

っている。また、高齢者夫婦のみ、高齢者独居の世帯も増えており、家族・地域で支えていく事も難しくなってきた。多くの市民も老後の暮らしに不安を持っており、いつまでも自宅で安心して暮らせる医療・介護体制(ケアシステム)の実現が

求められている。ケアシステムの柱となる在宅医療、いつでも自宅へ訪問できる看護・介護体制の整備が必要である。実現に向け全市を挙げ早急に取り組むべきである。

A 在宅医療の整備は、北葛北部医師会と協働で進め

ており、今後も、関係機関に協力をお願いする。

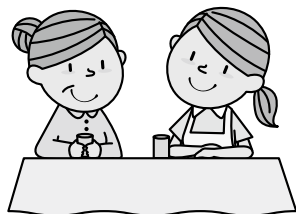
市が指定する地域密着型の定期巡回・随時対応型訪問介護看

護は、現在も久喜市にある事業所を1ヶ所指定し、幸手市民が利用することはできるが、市民

の利便性をさらに高めるために、市内での開設を目指す。

地域包括ケアシステムの実現に向けては、先進事例を参考にし、今後取り組み組んでいく。

(健康福祉部長)



幸手市都市公園等指定管理業務 調査特別委員会

市議会では平成27年9月より『幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会』を設置し、平成26年度から業務委託をしている指定管理者の事業執行の状況を調査してきました。

第12回

開催日 平成28年10月17日(月)

調査・審議内容

- ・平成26年度事業収支の仕訳先訂正に係る説明
- ・消費税等の納税主体に係る質疑応答
- ・適正な指導監督・事業執行の確認

本委員会は正副議長をオブザーバーとし13名の議員を委員として構成され、平成27年9月30日から平成28年10月17日まで全12回開催いたしました。説明員として担当部長・課長が、また第9回からは副市長、総務部長が出席。第8回、9回には参考人として指定管理者ユニシアより統括責任者等、代表団体セントラル・アメニティ代表取締役

および税理士の出席を求め、都市公園等指定管理の事業執行状況、事業収支につき質疑応答がありました。さらに市による事業改善勧告、管理者の改善計画書の内容について審議。執行部からは庁内に設置された「幸手市指定管理者制度運用改善検討委員会」による「指定管理者制度運用改善に係る検討結果報告書」について説明があり、質疑と答弁がありました。

第12回に副市長から「平成26年度決算不認定によりさまざまな指摘を受け、書類の誤記載等も改善され、平成28年度にはモニタリングもしっかり行い、指導監督体制を強化するよう指導しています。」との発言がありました。本委員会としては指定管理者に対する適正な指導が明確に打ち出され、一応の成果が出たと判断。しかし、指定管理期間は平成31年3月31日までであり今後も注視することとし調査を終えました。

常任委員会で先進地を視察研修

平成28年11月9日(水)・10日(木)

・富山県富山市

「富山型デイサービスについて」

・石川県小松市

「レンタサイクル事業について」

市議会では、3つの常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）が合同で行政視察を行いました。富山市では、富山型デイサービスが民間のデイケアハウスから発展した経緯やサービスの特徴、また行政との連携や今後の課題などについて研修を行いました。

石川県小松市では、放置自転車をレンタサイクルに利用しており、事業規模や各機関との協賛体制、利用状況の推移や都市基盤の整備、さらに事業の継続性、発展性など先進的な事業を調査してきました。



石川県小松市「レンタサイクル事業について」



富山県富山市「富山型デイサービスについて」

平成28年12月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 改革…改 先進…先 自民クラブ…自 日本共産党…共 無所属…無

(○：賛成 ×：反対 退：退席)

(市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	議決結果
		大山重隆(無)	小林啓子(公)	小河原浩和(改)	本田謡子(改)	松田雅代(先)	宮杉勝男(無)	木村治夫(自)	小林順一(無)	中村孝子(先)	藤沼貢(自)	青木章(無)	手島幸成(無)	武藤壽男(無)	大平泰二(共)		
議案第75号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数可決
議案第76号	幸手市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数可決
議案第77号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第78号	幸手市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第79号	平成28年度幸手市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第80号	平成28年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第81号	平成28年度幸手市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第82号	幸手市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第83号	幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第84号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第85号	平成28年度幸手市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第86号	平成28年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第87号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第88号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第89号	幸手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第90号	幸手市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

意見書案第1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
決議案第2号	地域包括ケアの推進を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

議会広報編集委員

委員長 手島幸成
副委員長 小林順一
委員 大平泰二
委員 木村治夫
委員 小林啓子
委員 本田謡子
委員 松田雅代
委員 武藤壽男

編集後記

2017年が幕を開けて早くも1ヶ月が過ぎましたが、身の引き締まる思いでいっぱいあります。権現堂の桜や草花のつぼみも春に備えてエネルギーをしっかりと貯めてじっと冬の寒さを耐え、春に訪れる皆様を見事な花で堤を爛漫に飾ってくれるでしょう。私達が住む幸手市も課題はありますが、議員が切磋琢磨し、全てが市民の暮らしを守るためとの心が暮らしに爛漫の花の咲く事を信じて。